

# 東日本大震災の被災障害者へ支援を届けましょう！！



## ■東日本大震災の被災地の障害者の皆さんは・

三月十一日の東日本大地震、津波、原発事故のあと約4ヶ月が経ちます。死者一万五千人、行方不明者七千人にのぼるそうです。逃げ遅れた多くの障害者や高齢者、避難を介護してそばを離れなかった職員や消防団の方々、多くの方々の命が失われました。新聞報道によれば、障害者の死亡割合は、全体の2・5倍だそうです。私たちも、尼崎でいきなり武庫川の堤防が決壊したら、逃げられるだろうかとまず思いました。

被災地の生活は、日ごろでも色々な困難がありますのに、いつそう困っておられるのではないかと心配です。避難所や半壊の自宅や介護施設で、お風呂がままならない、食事がかたよっている、介護者がいないので外出が出来ない。日ごろ飲んでいなければならぬ常備薬は届いているでしょうか。

わたしたち障害者関連団体は、4月に4ヶ所の駅ターミナルで、「被災障害者へ直接義援金を届けよう」と募金活動を行いました。おかげで市民のみなさまから、24万1934円の募金協力をいただき、すぐに、直接障害者への支援を行っている4団体（きようされん、ゆめ風基金、JDF総合支援本部、日本筋ジス協会）へ送りました。

息の長い支援を続けたいと、今回、2回目の募金活動を始めています。尼崎市民の皆さん、どうかご協力下さい。

## ■東北海岸部の障害者作業所が全壊だそうです

尼崎市から、何人もの障害者作業所や施設の職員さんが被災地支援ボランティアに出かけています。地震による建物の半壊など多いのですが、海岸部にあった作業所や施設は、津波で流され、全滅しているそうです。障害者のみなさんは、色々な場所にばらばらで生活されているのですが、海岸部にあった作業所などはいつ再開できるか、めどがたたないそうです。尼崎市にある私たちの作業所が、堤防決壊や海からの浸水で全壊したら、もういちど再開できる資金や人力にはとてもたどり着けそうにないことを考えると、復興の困難さがわかります。

また建物が被害をうけなくても、東北の品物は放射能で危ない、というような「うわさによる風評被害」によって大きな打撃を受けているそうです。1年前の製品であるのに作業所特産の味噌製品が売れなかった、などのことが起こっているそうです。

今後私たちは、被災障害者の支援として、障害者へ届く募金活動と、作業所など支援活動に息長く取り組みますが、尼崎市民のみなさま、今後ともご協力よろしくお願いいたします。

## ■街頭募金の送り先

皆様から募金していただいた義援金は、すぐにも障害者のもとへ届くよう、被災地障害者支援を開始している次の四組織へ等分して送ります。

- ・ きようされん 郵便振替 00100-7-86225 加入者名：きようされん自然災害支援基金口
- ・ ゆめ風基金 郵便振替 00980-7-40043 加入者名：ゆめ風基金
- ・ JDF東日本大震災被災障害者総合支援本部（制度改革推進本部が中心です。）郵便振替 00120-5-354869 加入者名：日本障害フォーラム
- ・ 日本筋ジス協会 郵便振替 00140-3-710163 加入者名：社団法人日本筋ジストロフィー協会（それぞれが、現地スタッフ派遣、作業所・障害者などへの支援を続けています）

尼崎市内障害者関連団体連絡会 連絡090(4306)5522

尼崎市身体障害者連盟福祉協会、 尼崎市精神障害者家族会連合会

尼崎市リハビリ友の会、 障害者の生活と権利を守る尼崎連絡協議会

障害者問題を考える尼崎連絡会議、 障害者人権擁護センター尼崎

小規模作業所尼崎連絡会、 尼崎の地域生活を考えるネットワーク

きようされん兵庫支部阪神Aブロック、 怒りネット関西

社会保障の解体に反対し公的保障を実現する会（阪神）